

心臓病の周辺

57

心臓病センター
榊原病院外科部長

石田 敦久



が、お向けに寝て下肢を真っすぐに伸ばして脈を触れる方法です。で、ご自身ではできません。

日常から注意することとは、まず禁煙です。足のケアを行うことと深づめにならないように注意してください。

毎日歩きまわろう。3千歩から始めて目標は1万歩です。

病気になるのに無症状であるのは、高齢・心不全などがあるため活動量が低い場合、末梢（まつしょう）神経障害がある場合、腰椎疾患・股関節疾患・膝関節疾患がある場合などがあります。

狭心症・心筋梗塞・脳梗塞の既往歴のある人、40歳以上の糖尿病で喫煙中あるいは高脂血症のある人、50歳以上の糖尿病あるいは喫煙中の人、70歳以上の人は少なくとも年に1度はABI検査（岡山では約700の医療機関にあります）、TBI検査（糖尿病の人を受けてください。この検査で早期発見・早期治療が可能であり、下肢切断を防ぐことができます。また、狭心症・心筋梗塞・脳梗塞などの早期発見にもつながります。

次回は11月21日に掲載します

運動療法での改善が期待できるのか、受診時から血行再建術をしないといけないほど血流が悪い状態なのかを調べるトレッドミル運動負荷ABI検査での回復時間があります。

III、IV度は血行再建術の絶対適応です。悪化すると下肢切断術が必要になることもあります。あお向けに寝て、足の付け根（股）の部分で動脈を触れてみてください。脈が触れない、片方が弱い、左右差がある場合はすぐに受診してください。足首、足背で脈をみる方法もあります。

III、IV度は血行再建術の絶対適応です。悪化すると下肢切断術が必要になることもあります。あお向けに寝て、足の付け根（股）の部分で動脈を触れてみてください。脈が触れない、片方が弱い、左右差がある場合はすぐに受診してください。足首、足背で脈をみる方法もあります。

III、IV度は血行再建術の絶対適応です。悪化すると下肢切断術が必要になることもあります。あお向けに寝て、足の付け根（股）の部分で動脈を触れてみてください。脈が触れない、片方が弱い、左右差がある場合はすぐに受診してください。足首、足背で脈をみる方法もあります。



TBI測定

▲ABI、TBIの検査結果。一番下のグラフが示すように、左足の血流が低下している

下肢動脈硬化で切断も

禁煙と運動療法で改善

主な症状はFontaine（Fontaine）分類があります。I度は無症状（冷感、色調の変化）、II度は間歇性跛行（かんけつせいはこう）一定の距離を歩くと主にふくらはぎが痛くなって歩けなくなると、少しの時間休むとま

た同じ距離を歩くことができない、平地は休まずに歩けるが坂道は休まずには歩けない）、III度は安静時痛（じつとしていても足趾、かかとが痛む）、IV度は下肢に治り難い傷・潰瘍（かいよう）がある、足趾・かかとに壊死（くくった部位）がある。

III、IV度は血行再建術の絶対適応です。悪化すると下肢切断術が必要になることもあります。あお向けに寝て、足の付け根（股）の部分で動脈を触れてみてください。脈が触れない、片方が弱い、左右差がある場合はすぐに受診してください。足首、足背で脈をみる方法もあります。

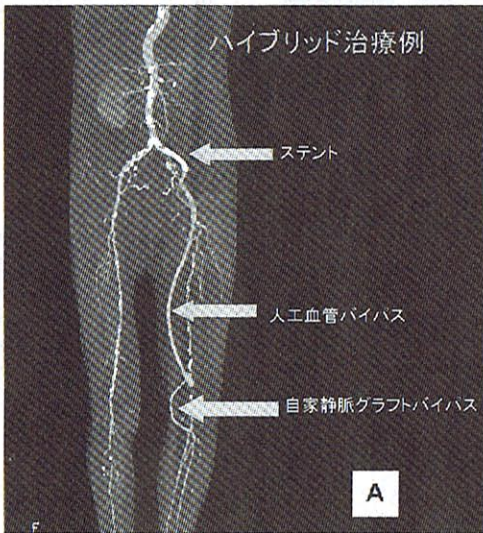
III、IV度は血行再建術の絶対適応です。悪化すると下肢切断術が必要になることもあります。あお向けに寝て、足の付け根（股）の部分で動脈を触れてみてください。脈が触れない、片方が弱い、左右差がある場合はすぐに受診してください。足首、足背で脈をみる方法もあります。

III、IV度は血行再建術の絶対適応です。悪化すると下肢切断術が必要になることもあります。あお向けに寝て、足の付け根（股）の部分で動脈を触れてみてください。脈が触れない、片方が弱い、左右差がある場合はすぐに受診してください。足首、足背で脈をみる方法もあります。

閉塞（へいそく）性動脈硬化症とは、主に下肢の血管が動脈硬化により、狭窄（血管が狭くなる）や閉塞（血管が詰まる）を起こして、血流の流れが悪くなり、足趾（そくし）まで栄養や酸素が十分に届かなくなる病気で

原因である動脈硬化は糖尿病、高血圧、高脂血症（コレステロール、中性脂肪が高い）、喫煙、肥満があると進行しやすくなります。

動脈硬化が生じた血管が心臓に栄養や酸素を送る冠動脈であれば、狭心症、心筋梗塞（こうそくせい）、脳に栄養や酸素を送る頸（けい）動脈や椎骨（ついこつ）動脈であれば脳梗塞、下肢への動脈（腹部大動脈、腸



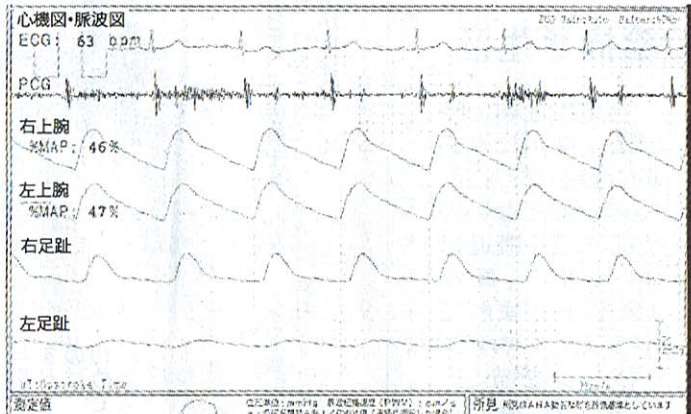
ハイブリッド治療例

ステント

人工血管バイパス

自家静脈グラフトバイパス

A



▲ABI、TBIの検査結果。一番下のグラフが示すように、左足の血流が低下している

TBI測定



TBI測定

▲ABI、TBIの検査結果。一番下のグラフが示すように、左足の血流が低下している